



## 【EAPコンサルタント技能検定】

- 一般社団法人 国際 EAP 協会 日本支部（Metropolitan Tokyo Branch of the Employee Assistance Professional Association）（※1）が行う技能検定です。
- EAP（※2）の基礎知識、スキル及び、倫理・行動 規範のルールを備えた EAP 専門家育成のための検定制度です。
- 検定に合格した方は、EAP コンサルタントとして活動することができます。

- EAPに関する有用性と認知度を高め、働く人々の物心両面における生活の質の充実に寄与することを目的としています。
- この検定制度は、EAP コンサルタントの上級資格となる CEAP（※3）の資格取得を目指すための導入・教育及び EAP への理解を深める機会としても活用されています。

※1：Employee Assistance Professionals 協会（EAPA）の正式な下部組織

※2：従業員支援プログラム

※3：CEAP：Certified Employee Assistance Professional（国際 EAP 協会認定 EA プロフェッショナル）

EAP に関する専門的な知識を活かし、コンサルテーションなどの支援やサービス提供を職場やクライアントに自ら直接行うことができる、日本をはじめ世界各国（米国以外の国々）において通用する国際認定資格

## 【検定合格の効果】

- EAPA（Employee Assistance Professionals 協会）が定義する EAP のメソッドを理解することができ、EAP 活動への自信となります。
- ” EAP コンサルタント” というステータスを獲得することにより、自身の活動の品質と信頼性を対外的に高めることが期待できます。
- 合格者は EAP コンサルタントとして活動を開始することができ、名刺等に表記することができるようになります。
- EAP コンサルタントとして産業領域と医療、カウンセリングの領域をつなぐ基礎的な仕事ができることを示しています。

~~~~ 検定合格者の名称(名刺等に記載できる表記)~~~~

<日本語表記>

一般社団法人 国際 EAP 協会日本支部認定 ” EAP コンサルタント”（認定番号）

<英語表記>

EAPA Japan “EAP Consultant - Basic Level”（認定番号）

~~~~

## 【EAP コンサルタント】

- 国際 EAP 協会 日本支部が公式に認定している資格です。
- EAP コンサルタントの活動範囲は、EAP に関する基礎知識（マネジメント・コンサルテーションの初動が的確にできること）を活かし、以下活動領域における職場への EAP 普及活動を担うことにあります。

### <EAP コンサルタントの活動領域>

EAP コンサルタントは、日本国内において次のような活動を行うことができ、期待されています。

- EAP の認知度を高めるための普及活動
- EAP を効果的に提供するためのニーズリサーチ及び営業（プロモーション）活動  
またそれに伴うコンサルテーション
- EAP が扱う領域における各種講座や講習・研修会の実施

#### （1）臨床系援助業務資格保有者で EAP 専門家を目指す人

既に働く方のカウンセリングを実施している場合は EAP カウンセラーと区分します。個人に向けたカウンセリングやセラピーの実践に加え、EAP コンサルタントとしての EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付けます。

#### （2）臨床系援助業務資格「無」保有者で EAP 専門家を目指す人

特にカウンセリングやセラピーの資格や訓練の経験はないものの、業務上対人援助に関わる仕事をしている場合は、EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付けます。

#### （3）その他 EAP コンサルタントが行えること

一定の要件を満たせば、EA 技能検定講習の講師および審査員、CEAP 養成講座の講師・アドバイザー、スーパービジョンなどを行うことができます。

開催予定月		内 容	備 考
4月・8月・12月	1	EAP コンサルタント技能検定講習	6H×2 日間